学校番号	１０１２

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	キャリア数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	看護数学３年						
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業には教材をもってきてください。
・定期的に課題を出します。必ず仕上げて提出するようにしてください。
・授業に集中して取り組んでください。
・校内では看護数学３年の講座名で実施している。

2　学習の到達目標

・基本的な数学知識を身につける。
・様々な事象を数学的に考察し、どの分野においても思考の過程を表現できるようになる。
・数学の良さを理解し、自ら数学的な考え方を活用しようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式、図形と計量、二次関数場合の数と確率、及びデータの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数と式、図形と計量、二次関数場合の数と確率、及びデータの分析における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、図形と計量、二次関数場合の数と確率、及びデータの分析の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と式	・数と式	a:数を実数まで拡張する意義を理解し、四則計算に加え、展開、簡単な因数分解ができる。 b:一つの文字に着目したり、置き換えたりするなどして、色々な式の見方をすることや、目的に応じて的確に式を変形する方法を考察するとともにどのような見分けをするのか説明できる。 c:実数や計算に関心を持つとともに数学の良さを認識し、それらを計算などの問題解決に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	パフォーマンス課題 レポート課題	パフォーマンス課題 態度
	場合の数と確率	・場合の数	a: 集合の要素について理解している。和の法則･積の法則を理解している。順列や組合せの考え方について理解している。 b:集合の要素に関する関係式を用いて，補集合の要素の個数や和集合の要素の個数を求めることができる。樹形図や積の法則を基にして，順列の総数を導く過程を考えることができる。 c: 集合やその要素の個数について関心をもち，進んで学ぼうとする。具体的な事象の考察に順列の考えを利用しようとする。	定期考査 小テスト	パフォーマンス課題 レポート課題	パフォーマンス課題 態度
2学期	場合の数と確率	・確率	a: 確率の基本的な法則を用いて，事象の確率を求めることができる。排反事象の確率を求めることができる。余事象を利用して確率を求めることができる。独立な試行の確率，反復試行の確率を求めることができる。 b: 試行や事象の考えを用いて，確率の基本的な法則について考えることができる。順列，組合せおよび集合の考えを利用して，いろいろな事象の確率を調べることができる。 c: 確率について関心をもち，進んで学ぼうとする。具体的な事象の考察に，確率の考えを利用しようとする。	定期考査 小テスト	パフォーマンス課題 レポート課題	パフォーマンス課題 態度

2学期	2次関数	・2次関数	a:平方完成などを利用し２次関数から頂点を求める事ができ、グラフの概要を書くことができる。 b:2 次関数$y = ax^2 + bx + c$のグラフと$y = ax^2$のグラフの位置関係を考察することができ、どのように平行移動したか判断できる。 c:二次関数とそのグラフについて関心をもち、それらを二次関数の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	パフォーマンス課題 レポート課題	パフォーマンス課題 態度
	図形と計量	・図形と計量 ・整数の性質	a: 三角形の決定条件が与えられたとき、三角形の残りの要素を求めることができる。 b: 正弦定理・余弦定理を導く過程を考察することができる。 c: 正弦定理・余弦定理が有用であること認識し、それらを図形の計量に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	パフォーマンス課題 レポート課題	パフォーマンス課題 態度
3学期	データの分析	・データの分析 ・Ⅰ・A総合演習問題	a: 散布図を描いたり、相関係数を求めたりすることができる。 b: 散布図や相関係数などを用いてデータの傾向を捉え、それらを的確に表現することができる。 c: 散布図や相関係数などを用いてデータの相関を把握し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	パフォーマンス課題 レポート課題	パフォーマンス課題 態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度